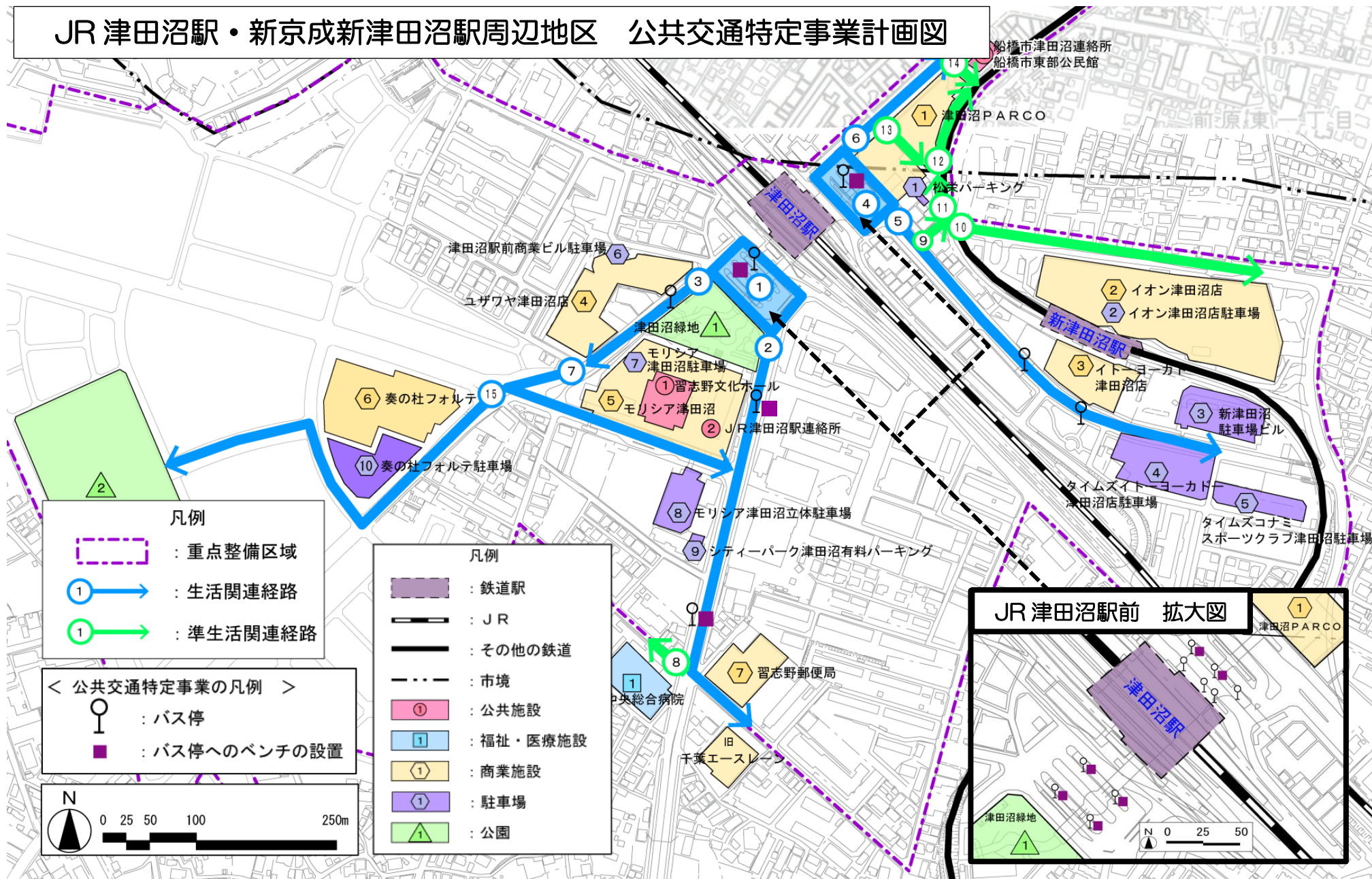


JR 津田沼駅・新京成新津田沼駅周辺地区 公共交通特定事業計画図



習志野市バリアフリー移動等円滑化特定事業計画進捗状況調査表(公共交通特定事業計画)

A:事業完了・計画どおり進行
B:概ね計画どおり進行
C:進捗しているが努力を要する
D:未着手
―:計画実施時期未到来

＜JR津田沼駅・新津田沼駅周辺地区＞

No.	重点整備 地区	旅客施設名 ・地区名	事業者	事業内容	事業量 (延長/箇所数)	特定事業計画での 実施予定時期		実施時期 (年度)											令和7年度の具体的な 取組内容		
								前期					後期								
								着手 予定	完了 予定	27	28	29	30	元	2	3	4	5		6	7
1	イ	JR津田沼駅	東日本旅客鉄道株式会社	バリアフリー教育研修を実施する	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	バリアフリー教育研修を実施		
2	イ	新津田沼駅	京成電鉄株式会社 (旧新京成電鉄株式会社)	鉄道車両への車いすスペースの設置を行う	4編成(8箇所)	前期	後期	B	B	B	B	B	B	A	/	/	/	/	/		
3	イ		京成電鉄株式会社 (旧新京成電鉄株式会社)	駅係員のサービス介助士資格取得及び サービス向上研修での教育を行う	年1回以上	継続	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		
4	イ	JR津田沼駅・新津田沼駅 周辺地区	京成バス千葉セントラル株式会社 (旧京成バス株式会社)	バス停にベンチを設置する	ベンチ7基 (バス停 8箇所)	前期	前期	A	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
5	イ			ノンステップバスの導入を進める	66両 (管轄内の車両のうち)	継続		A	A	A	A	A	D	D	A	A	A	A	C	ノンステップバスの導入を継続	
6	イ			乗務員への高齢者・障がい者等への 対応を図るための教育を行う	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	・入社時研修の中に、高齢者・障がい者等への 対応研修が含まれている。
7	イ		京成バス千葉セントラル株式会社 (旧船橋新京成バス株式会社)	ノンステップバスの導入を進める	24両 (管轄内の車両のうち)	継続		A	A	A	A	A	D	D	B	A	A	A	A	全車両ノンストップバス導入	
8	イ			乗務員への高齢者・障がい者等への 対応を図るための教育を行う	—	継続		A	A	B	B	A	B	B	A	B	C	C	B	B	1か月に1度全乗務員を対象とした集合教育等 において、高齢者・障がい者等への対応を図る ための教育を実施。
9	イ		京成バス千葉セントラル株式会社 (旧ちばレインボーバス株式会社)	車内での停留所案内や筆談用具の設置等、 情報を分かりやすく提供する	乗合全車両	継続		B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	継続実施
10	イ			ノンステップバスの導入を進める	49両 (管轄内の車両のうち)	継続		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	管轄内の車両のうちノンステップバスは49両。 津田沼駅へ乗り入れる車両のノンステップ率は 100%
11	イ			乗務員への高齢者・障がい者等への 対応を図るための教育を行う	年2回	継続		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	年間計画の中で定期的に実施
12	イ		京成バス千葉セントラル株式会社 (旧京成バスシステム)	バス停にベンチを設置する	1ヶ所	継続		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	各所の旅客及び歩行者の動線・幅員等を考 慮しながら検討。
13	イ			ノンステップバスの導入を進める	—	継続		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	路線バス車両は全てノンステップバスを導入
14	イ			乗務員への高齢者・障がい者等への 対応を図るための教育を行う	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	1か月に1度全乗務員を対象とした集合教育等 において、高齢者・障がい者等への対応を図る ための教育を実施。
15	イ		平和交通	ノンステップバスの導入を進める	—	継続		B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	ノンステップバス2台(土休日4台)全車両配属中
16	イ			乗務員への高齢者・障がい者等への 対応を図るための教育を行う	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
17	イ		京葉支部区域内のタクシー事業者	福祉タクシー車両の導入を進める	—	前期	前期	D	D	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	令和7年度中もUDタクシーの導入が進み、保有 12団体、全194台の保有状況となっている。
18	イ			ユニバーサルドライバー研修(タクシー乗務員 バリアフリー研修)受講を推進する	年20～30名	継続		C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

京成津田沼駅周辺地区 公共交通特定事業計画図

凡例

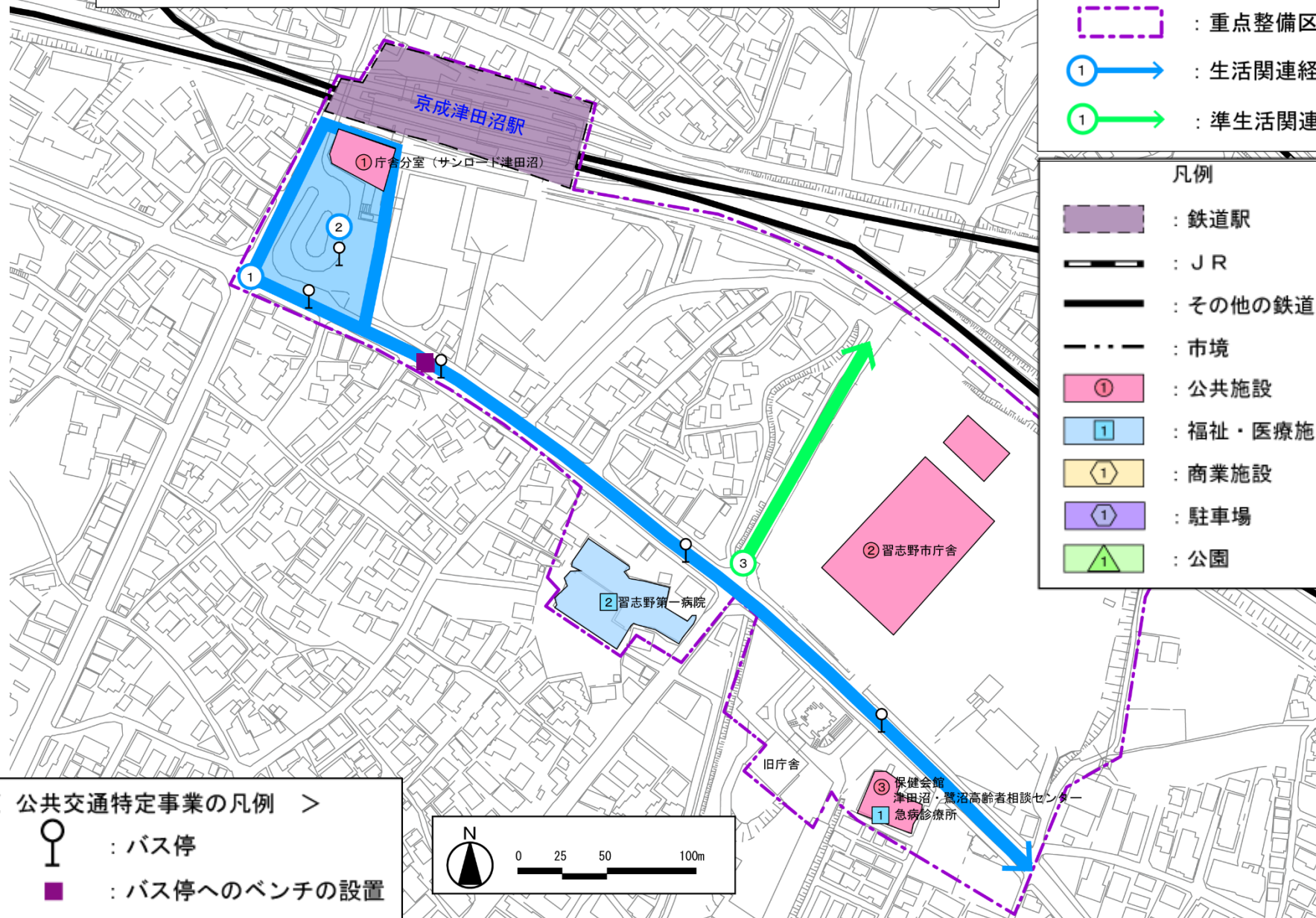
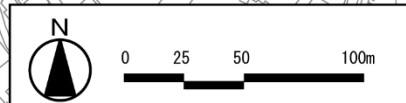
-  : 重点整備区域
-  : 生活関連経路
-  : 準生活関連経路

凡例

-  : 鉄道駅
-  : J R
-  : その他の鉄道
-  : 市境
-  : 公共施設
-  : 福祉・医療施設
-  : 商業施設
-  : 駐車場
-  : 公園

< 公共交通特定事業の凡例 >

-  : バス停
-  : バス停へのベンチの設置

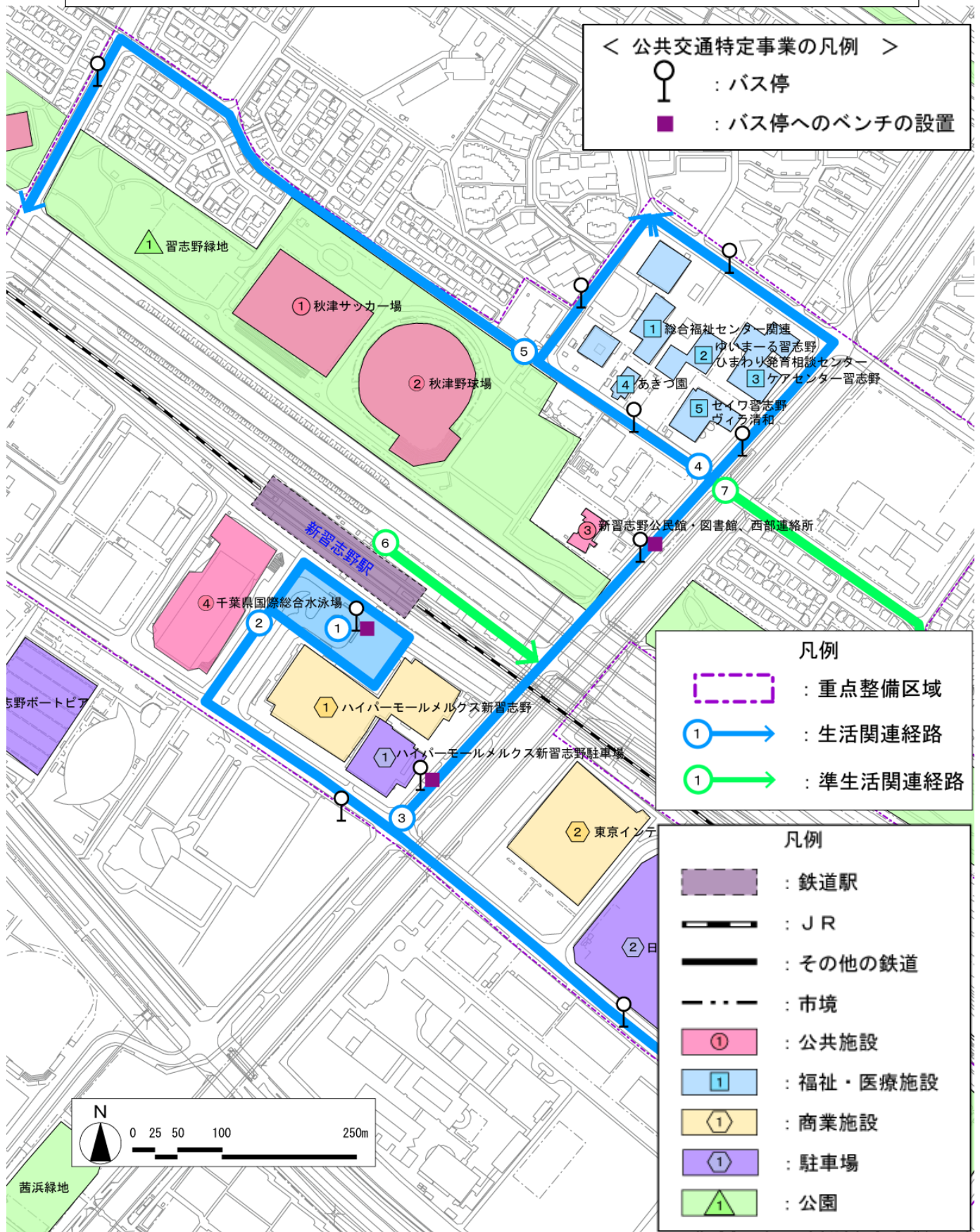


習志野市バリアフリー移動等円滑化特定事業計画進捗状況調査表(公共交通特定事業計画)

<京成津田沼駅周辺地区>

No.	重点整備 地区	旅客施設名 ・地区名	事業者	事業内容	事業量 (延長/箇所数)	特定事業計画での 実施予定時期		実施時期 (年度)										令和7年度の具体的な 取組内容	
								前期					後期						
						着手 予定	完了 予定	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6		7
19	□	京成津田沼駅	京成電鉄株式会社	駅の各施設(発券機、トイレ、エレベーター、階段等)は高齢者、障がい者等にとって使いやすい構造とする	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	特筆事項なし。 今後も使いやすい駅整備を検討する。	
20	□			各情報を視覚情報・聴覚情報として分かりやすく提供する(路線案内、運賃案内、運行情報、非常時の案内等)	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	掲示物等の設置や、駅係員による構内放送をはじめとしたわかりやすい情報の提供に努めた。	
21	□			鉄道車両への車いすスペースの設置を行う	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	・車両の更新等に合わせて、一般通勤車両への車いすスペースの導入を継続。 (参考)2025年度末時点 実績 一般車両 104編成中99編成に車いすスペースを導入済み ・スカイライナーの車両の車いすスペースを1箇所から2箇所に増設。(2018年12月全編成完了)
22	□			駅係員、乗務員へ的高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	・職員による「サービス介助士」資格の取得を奨励し、社内研修の一環として取得講座を実施。 (2005年より継続) ※2025年度末時点 取得割合 680人/808人(駅長含む全駅係員の人数で換算) ・「盲導犬ユーザー等対応講習」について、2025年5月に実施した。 ・発達障がい者のご家族とのパネルディスカッション
23	□	京成津田沼駅周辺地区	京成バス千葉セントラル株式会社 (京成バス株式会社)	バス停にベンチを設置する	ベンチ1基 (バス停 1箇所)	継続		D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	実績なし
24	□			ノンステップバスの導入を進める	66両 (管轄内の車両のうち)	継続		A	A	A	A	A	D	D	A	A	A	C	ノンステップバスの導入を継続
25	□			乗務員へ的高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	入社研修の中に、高齢者障がい者等への対応研修が含まれている
26	□		京葉支部区域内のタクシー事業者	福祉タクシー車両の導入を進める	—	前期	前期	D	D	C	B	B	B	B	B	B	B	B	令和7年度中もUDタクシーの導入が進み、保有12団体、全194台の保有状況となっている。
27	□			ユニバーサルドライバー研修(タクシー乗務員バリアフリー研修)受講を推進する	年20～30名	継続		C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	令和7年度中、協会主導UD研修受講者は61。既受講者数は699人。

JR新習志野駅周辺地区 公共交通特定事業計画図



習志野市バリアフリー移動等円滑化特定事業計画進捗状況調査表(公共交通特定事業計画)

<新習志野駅周辺地区>

No.	重点整備 地区	旅客施設名 ・地区名	事業者	事業内容	事業量 (延長/箇所数)	特定事業計画での 実施予定時期		実施時期 (年度)											令和7年度の具体的な 取組内容	
								前期						後期						
								着手 予定	完了 予定	27	28	29	30	元	2	3	4	5		6
28	ハ	JR新習志野駅	東日本旅客鉄道株式会社	プラットホームに、内方線付警告ブロック等、転落を防止するための設備の設置を行う。	—	H30年度	H30年度	D	D	D	A	A	A	A	A	A	A	A	整備完了済	
29	ハ			バリアフリー教育研修を実施する	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	バリアフリー教育研修を継続実施	
30	ハ	JR新習志野駅周辺地区	京成バス千葉セントラル株式会社 (京成バス株式会社)	バス停にベンチを設置する	ベンチ3基 (バス停 9箇所)	継続		A	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
31	ハ			ノンステップバスの導入を進める	66両 (管轄内の車両のうち)	継続		A	A	A	A	A	D	D	D	A	A	C	ノンステップバスの導入を継続	
32	ハ			乗務員への高齢者・障がい者等への適切な対応を図るための教育を行う	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	入社研修の中に、高齢者障がい者等への対応研修が含まれている
33	ハ			京葉支部区域内のタクシー事業者	福祉タクシー車両の導入を進める	—	前期	前期	D	D	C	B	B	B	B	B	B	B	B	令和7年度中もUDタクシーの導入が進み、保有12団体、全194台の保有状況となっている。
34	ハ				ユニバーサルドライバー研修(タクシー乗務員バリアフリー研修)受講を推進する	年20～30名	継続		C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	令和7年度中、協会主導UD研修受講者は61。既受講者数は699人。